

おたる 西別院だより

報 恩 講 号



画 安藤 龍昭氏

平成12年度親鸞聖人報恩講は10月12日(木)～16日(月)です。
 (13日は、寄贈品セールを行います。)

説教所・教化団体 報 恩 講	9月28日(木)	仏教婦人会	報 恩 講
	9月29日(金)	緑 説 教 所	報 恩 講
	10月28日(土)～29日(日)	新 光 説 教 所	報 恩 講
	11月2日(木)～3日(金)	奥 沢 説 教 所	報 恩 講
	11月中	仏 教 青 年 会	報 恩 講
	12月中旬	仏 教 壮 年 会	報 恩 講

10月12日(木)～17日(火)までの月忌参りをお休みさせていただきます。

御正忌報恩講



輪番 波多野 昭方

小樽別院報恩講が例年の如く十月十二日より十六日までお勤まりになります。親鸞聖人の御命日(二月十六日)には御本山へ参拝するのが建前ですので小樽別院では「お引上げ」「お取り越し」として事前に執行いたします。

浄土真宗の法要儀式の中では一番重要な法要で、聖人九十年のご苦勞を偲びつつ、如来の本願を聞き開き、お念仏を喜ぶ獲信のお味わいを深めさせていただく大切な

法座です。

私の自坊「越前」では当山の報恩講が済み次第御門徒の報恩講詣りが始まります。季節的には雪の降る頃ですので雪坊さんとか、雪雷が鳴る時ですから、雷坊さんとか種々敬称で呼んで下さるのも嬉しい限りです。報恩講として家庭の中に定着し愛称を持って付けて下さるニツクネーム、昔から申し送られた諺も嬉しく感じ正信念仏偈にも一層力がはいります。

御先祖から受け継がれ、聖人お勧めのお念仏のお力添えの賜物だと報恩感謝のお念仏を唱えるのみです。世の中安穩なれ、仏法弘ろまれかしのお言葉、今一度皆様と共に声高らかに唱えたいものです。

南無阿弥陀仏

宗祖親鸞聖人報恩講法要日程表

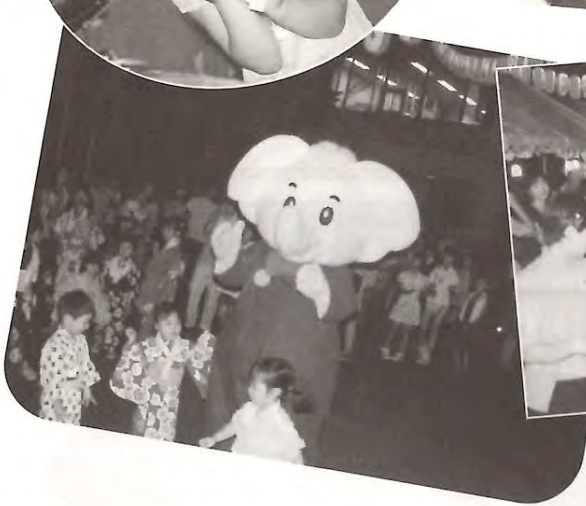
期日	時間	法要・行事	布教(法話)
十日(木)	十時 十三時三十分	○三圖合同参拝 ○遠夜(大師影供作法)	布教一席 村上師
十一日(金)	六時三十分	○晨朝(正信偈草譜六首引) 和讃「三朝浄土」	布教一席 村上師
	九時 十時 十三時三十分	○双葉高校参拝(3学年) ○日中(十二礼作法) ○遠夜(大師影供作法) ○初夜(般舟讃) 御伝鈔上巻持読 祖徳讃仰	布教一席 村上師 布教一席 村上師
十二日(土)	六時三十分	○晨朝(正信偈草譜六首引) 和讃「五十六億」	崇敬法中(三十分) 布教一席 村上師
	十時 十三時三十分 十八時	○日中(十二礼作法) ○遠夜(奉讃大師作法) ○初夜(日没礼讃偈) 祖徳讃仰	布教一席 村上師 布教一席 村上師 崇敬法中(三十分) 布教一席 村上師
十三日(日)	六時三十分	○晨朝(正信偈草譜六首引) 和讃「尊者阿難」	布教一席 村上師
	十時 十三時 十三時三十分	○日中(十二礼作法) ○庭儀(稚児行列) ○遠夜(五會念仏作法) 御俗姓持読 ○物故者追悼法要 ○初夜(初夜礼讃偈) 御伝鈔下巻持読 祖徳讃仰	布教一席 村上師 布教一席 村上師 崇敬法中(三十分) 布教一席 村上師
十四日(月)	六時三十分	○晨朝(正信偈草譜六首引) 和讃「弥陀成仏」	布教一席 村上師
	十時	○満日中(報恩講作法) 代表焼香・御礼言上	布教一席 村上師

講師/浄土真宗本願寺派布教使

村上 通明師

別院フォトクラブ

お盆編



次回は、報恩講の写真を掲載します。
お楽しみに。

花嫁衣装一式・貸衣装・高級祭壇葬儀一式
通商産業大臣許可 互 第1010号
全日本冠婚葬祭互助協会会員

株式会社 **小樽新生活互助会**

小樽市花園4丁目8番1号 国道5号線・山側

TEL 25-8743
FAX 25-8745

OA商品・リコピー・事務機・スチール家具

株式会社
北光堂

小樽市花園4-1-2 FAX 25-1358

TEL 32-1322

ご案内

お 晨 朝

毎日 午前6時30分

常 例 布 教

毎月7日～11日 午後1時30分
13日～16日 午後1時30分

仏教青年会

毎月1回 午後7時30分

仏教婦人会

毎月27日 正午(おときあり)

仏教壮年会

毎月6日 午後7時

おつとめしま専科!

毎月2回(火曜日) 午後2時

ボーイスカウト

毎月1回(土曜日) 午後2時

日曜仏教講座

毎月1回(第3日曜日)
午前9時30分

十 九 日 講

毎月19日 正午(おときあり)

各説教所の案内

●奥沢説教所

樹心会 5日 午後7時
唯信講 10日 正午

●若竹説教所

彰心会 7日 午後7時

●緑説教所

無量講 9日 午後6時

●新光説教所

法友会 13日 午後6時

カブスカウト 募 集!

何でも話しあえる友達をつくろう。

活 動/毎月1回 土曜日 午後2時～4時
内 容/文化しせつの見学、お泊り会、運動会。
小学校2年生から5年生の男子、女子を
大募集!ぜひ連絡下さい。

TEL 22-0744 担当 温井、村田

仏教青年会 会員大募集!

●活動内容/文化活動、ボランティア

月1回例会(金曜日)

各種レクリエーション(ボーリング、カラオケ、スキー等)

10代、20代の男女を待っています。

ぜひ気軽によってください。

連絡 TEL 22-0744 担当 日野、村田

おつとめ しま専科!

只今、会員さん増殖中!!

伝染するよ

対 象/どなたでもどうぞ。

費 用/特に必要なし!

日 時/月2回の火曜日午後2時

お問い合わせ/今すぐ別院の磯村まで...

第十九回晨朝百日参拝

達成者のお知らせ

平成十二年度の百日参拝が終了致しました。今年は二十三人の方々が百日参拝を達成されましたのでお知らせします。

なお小樽別院では年間を通じて毎朝六時半よりお晨朝のおつとめが行われています。皆様お誘い合わせの上、是非ともご参拝下さい。

【連続百日参拝達成者3名】

川崎 正吉 前田 幸一 三浦 幸子

【百日参拝達成者 20名】

辻井富士男 平田 晴己 前田 民子
宮本 みい 安田 芳枝 清水 和子
長谷部和子 桶 ノブ 荒木美津子
中條 国子 鈴木富美子 平位 京子
高瀬 照子 嶋田アイ子 花坂 一恵
見楚谷光子 長谷川ユキ 岩船 寿
和崎 光晴 佐野 緑

別院門信徒物故者追悼法要の ご案内

慈光のもと門信徒の皆様には、益々ご健勝にてお念仏相続のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび小樽別院本堂におきまして、今日まで別院にご縁があつた方々の追悼法要を左記の通り執り行います。

このご法要は、今の世が多くの先人の尊い命の上に成り立っていることに一人ひとりが思いを致し、生きとし生けるものすべての命の尊さに目覚め、門信徒の皆様と共に先だつていかれた方々を偲ばせていただく法要であります。

このご縁に一人でも多くの方々のご参拝をいただきたくご案内申し上げます。

記

日時 平成十二年十月十五日(日)

十三時三十分

場所 本願寺小樽別院本堂

(報恩講大速夜に引き続き)

今年の報恩講では、15日(日)のお速夜法要に先立ち稚児行列をとり行います。対象は三歳以上の幼児で、参加費用三千五百円です。

このご縁にご家族一緒に、報恩講に足を運んでください。申し込み等詳しいことは、別院までお問い合わせ下さい。



十人十声

●心をいただく



西川 達恵

私達は他の人から色々な物を頂きます。しかし貰っても嬉しく思える場合ばかりではないように思います。昔の方が「物を貰うに心を貰え」と言われました。品物を貰っても、贈って下さった方の心には気づかない事が多いようです。本当に私が頂かなければいけないのは品物だけではなく、くださった方の温い心も一緒に頂くことだと知らされま

す。東井義雄先生の本より小学生の修学旅行記を紹介します。「弁当の包みを開いたら、おむすびが出てきた。手紙がついていた。それを読んでいるとおかあさんの顔が浮かんできた。すると、おむすびだけじゃない、私の着ている服も、忙しいおかあさんが、心をこめてぬってくださった服であることに気がついた。飾りについている刺しゅうも、一針一針おかあさんの心がこもっているのだと思うと、一二人の六年生の中で、わたしが一番しあわせ者だと思われてきた。そして、わたしもおかあさんになるときは、おかあさんのようなおかあ

さんになりたいと思いました」気がついてみると数えきれないほどの形の違った心をいただいでいました。

●「私へのはたらき」



武藤 二孝

恩は、梵語でカタニニ ユーといい、「なされたことを知る」という意味だそうです。そういえば、恩は因(もと)を心に思うと書きます。

なされたことは、私へのめぐみであり、私へのはたらきであります。しかし、現在の私たちは、そのことを忘れてしまっているのではないのでしょうか。

仏様の、私たちへの「本当の世界に気づいてくれよ、どうか助かってくれよ」とのおはたらき、そして、私が今ここにあらゆる方々のおかげで生かされていることのおりがたさを思うことであります。

そして、その本願念仏の教えを私の前に明らかにしてくださった親鸞聖人のご恩を、よろこばずにはおれないことであります。

●「はじめてはみたもの」



中島 賢潤

お浄土をこの世にうつしたのがお寺の本堂や、お仏壇です。「仏説阿彌陀經」の中で、お浄土は目で見、鼻で匂ぐだけでなく「耳で聞く世界」でもあります。そして仏様の説法や仏様の代理としての鳥の声や風の音を、仏殿やお仏壇の前であらわすのが読経であり、雅楽であると言われています。

当別院も今年の4月から毎月の聖人の宗祖月忌法要の15、16の両日と恒例法要の際、

別院職員で雅楽を奏でてます。何分練習不足で参拝者にご迷惑をかけているのが現状です。一にも二にも練習して、音色のいい演奏が出る様心がけたいと思いますので、どうぞ本願寺小樽別院へご参拝下さる様、お待ちしております。

●お仏壇のお洗濯で不幸が起こるのか



村上 隆昌

御門徒さんの家に古くて大きなお仏壇があります。そのお仏壇をお洗濯(修復)をしようと思ひ、老夫婦に相談したら断られたそうです。その理由が「まだ死にたくないから」という返事だったそうです。死人もないのに仏壇を新調したり、お墓を建てると不幸が起こるとい話は、ときおり聞くこともあります。まったく根拠のないことで、それは縁起かつぎや迷信の一種だといえます。北陸の方では逆に「お仏壇のない家は馬小屋と同じだ」ということばがあります。それは仏を敬い、仏の教えに耳を傾けて自分を見つめることがないなら、どんな立派な家であっても、中の人間は結局、動物と同じだということなんです。親鸞聖人は、そのような縁起かつぎや迷信に振り回されている生き方を「かなしきかな道俗の良時・吉日えらばしめ天神・地祇をあがめつつ卜占祭祀つとめとす」と悲しんでおられます。一番大切なのは、もしお仏壇の洗濯をしてみがかれても、ただ家財道具の一つにしておくだけではなく、あなたやご家族のみなさんの仏法を聞く姿勢もぜひ、みがい頂きたいものです。とにかく正しい仏縁が深まる事が何より願われます。

●どこまで進歩するの？



磯村 真一

最近の電気製品についていけないのは、私だけであろうか？特に携帯電話の進歩には、目を見張るものがある。

今から十九年ほど前に上映された「スタートレック」という宇宙映画の中で、ミスタースポックという役の人がポケットから二つ折りのモノを取り出し、相手と同時に会話しているのを見て驚いた。それまで通信といえば、会話が一方通行で通信距離に限られているトランシーバーだけだった。しかし、あつという間に贅沢品といわれたショルダーホン(本体がショルダーバッグ型)や自動車電話がでて、年々小さくなり多機能になった。

今では小学生までが持つようになったわけだが、私はついていけない。いくら簡単にインターネットにつながれるといっても、写真が送れるといわれても、あの一センチ以上も厚みのあるマニュアル(説明書)を見ただけで「耐えられん」だあああー！

●ご用済みの精神



梶 純信

あるご門徒のおばあさんがこんな話を話しておられました。「家のお嫁さんは私がいなければ何もわからない。何もできない。」こんな話がよく聞きます。反対にお嫁さんの話で「おばあちゃん私がいなくて何もしない。危なっかしくて一人にしておけない。」こんな話もよく聞きます。結局私達人間は、私がいなければ、という

自己主張が強いのだと思います。金子大栄先生はよく「一日も早くご用済みになる精神で生きましょう」といわれたそうです。「私がいなくてもお嫁さんがわかるようにしておいてあげよう。」これがご用済みの精神です。このような精神で生きたなら、「あれこれ親切に教えてくれるおばあさん、大事にしないで」という具合に、用済みどころか大事にされるだろうということですから。肩肘張らずに、ご用済みの精神で日暮らししていきたいものです。

●おつとめ

温井 卓生



「朝夕、おつとめをする、何か心が落ち着きます。」とか、「毎日おつとめをして、先祖のご供養をしています。」という言葉をよく聞きますが、これでは、まるでおつとめは、生きている人の精神安定剤か、亡くなった人の靈魂安定剤のようです。私たち浄土真宗では、決してこのような意味でおつとめをしているわけはありません。浄土真宗の朝夕のおつとめは、正信偈ですが、この正信偈をおつとめするのは、阿弥陀如来のためとか親鸞聖人のためにおつとめをしているという気持ちならば、それは間違っています。他宗では、亡くなった人のためにおつとめするようですが、浄土真宗では正信偈に続いて和讃をおつとめするのは、阿弥陀如来のお心またそのお心をあきらかにしてください。七高僧の解釈を自らが聞かせていただき、自らがしっかりと受けとめさせていただきます。さらに自らがよろこばせていただくことなのです。

●「聴聞する」とは

日野 尊行



仏法を聞くことを「聴聞する」といいます。「聴」とは耳を傾けて聞くことで、それを続けていくと、いつのまにか「聞」、つまり聞かされてくるようになるということです。だから、本当のことが聞かされてくるまで、とにかく聴かなければなりません。お釈迦さまは「聞く」ということは難しいことである。ただ余計なことを考えず、ハイッと受けとめなさい」と勧められました。私達は仏教の教えを安易に批判するけれども、それは、

「聴」とは耳を傾けて聞くことで、それを続けていくと、いつのまにか「聞」、つまり聞かされてくるようになるということです。だから、本当のことが聞かされてくるまで、とにかく聴かなければなりません。お釈迦さまは「聞く」ということは難しいことである。ただ余計なことを考えず、ハイッと受けとめなさい」と勧められました。私達は仏教の教えを安易に批判するけれども、それは、

●報恩講

村田 法道



一月十六日(旧暦では十一月二十八日)宗祖、親鸞聖人の祥月命日です。一二六二年九

十年のご生涯でした。傲慢な私たちが救われる道を宗祖は、ただひとつ「そのままよい。如來さまが引き受けてくださるから、そのまま安心しているがよい」と、お説き下さったのです。

しかし、こうお説き下さるまでに、並大抵ではないご苦労があったことを忘れてはなりません。私たちにはとうてい出来ないご苦労です。その「苦労に感謝し、お徳をたたえ思んで法要をつとめるのが報恩講なのです。」

●お茶の効力

相馬 早苗



今年も夏も大変暑くなり、テレビのニュースを見てみると、毎年かかさずに食中毒の話

を耳にします。食中毒O-157に強い殺菌力をもつ成分カテキンは、お茶に含まれるもので、緑茶・紅茶などに多く含まれています。昔からお茶は、美容と健康によいとされていますが、緑茶に含むカテキンが、主に高血圧や動脈硬化そして、緑茶に含まれるビタミンやカロチンなどと協力してガン予防までしてくれるそうです。紅茶も緑茶と同じ原料で作られているため薬効はほとんど同じですが、紅茶には緑茶以上に抗菌作用に優れ、これから冬にかけて紅茶でうがいをする、インフルエンザ予防にもなるそうです。緑茶や紅茶は水分供給をするだけの飲み物ではなく、色々な菌を殺す薬として活用できる飲み物でもあるのです。

●「2回目」の夏

渡部 恵



私は、最近とても月日が経つのを早く感じます。特に季節の中では夏が一番短く感じ、別院の「盆踊り大会」盆会法要が終わると自分の気持ちの中で、「夏が終わった」と感じてしまいます。去年の夏は、初めてのことはばかりで、とまどいを感じ夏の行事でも自分が何をしていいのか良く分からずに、日々を送っていましたが、今年は、自分なりにゆとりができて行事ごとの仕事の流れも少しは見えるようになりまし。

「盆踊り大会」では、私も踊りの輪に参加することができ、仏婦の方々に教わりながら楽しく踊ることができました。又、来年も今年と違う夏が来ることを、とても楽しみにしています。残り少ない夏を自分なりに満喫したいと思っています。

2000年(平成12年)年 回 表

1 周忌	平成11年
3 回忌	平成10年
7 回忌	平成6年
13 回忌	昭和63年
17 回忌	昭和59年
25 回忌	昭和51年
33 回忌	昭和43年
50 回忌	昭和26年

こんにちは！若竹保育所です

両親の共働き、病気、出産などの理由で保育に欠ける1歳児から就学前までの幼児をお預かりし、午前8時より午後5時30分迄の間保育しております。



(但、保護者の事情により、
午前7時30分～午後6時迄)



おともだちがいっぱい！
おいしい給食もあります。
たのしい行事がいっぱいありますよ。



- ★花まつり、降誕会、報恩講
：おしゃか様、しんらん様にお手々をあわせておがみます。
- ★運動会、お遊戯会
- ★水遊び
- ★町内主催の敬老会に参加(年長組のみ)
：よさこい踊り、歌などを披露してお祝いしております。
- ★遠足、お散歩
- ★お誕生会
- ★おもちつき、豆まき



みんなで一緒にあそびましょう!!

山と海の自然に囲まれつつ、
とても家庭的に、また、地域との
暖かいふれあいの中で子供達が
「すなおで 明るく 元気な子」に
成長する保育を目標としております。



宗教学人 本願寺小樽別院

若竹保育所

小樽市若竹町5番2号

TEL 22-6539